

令和2年度 事業報告書（モデル的事業）

団体名：久々野まちづくり運営委員会

1. モデル的事業名	魅力情報発信事業		
2. 事業名	魅力・お宝発信事業		
3. 事業期間	H30～R3（4年）	4. 事業進捗率	60%
4. 目的	(1) 情報発信事業 久々野に魅力を感じるファンを作り、久々野に住みたいと思う人を増やすため、コミュニティービジネスの創出および移住者を久々野へ誘う仕組みを構築する。 〔地域課題〕 ・久々野の魅力を外部に発信する仕組みが乏しい ・久々野地域の情報が得にくい ・まちづくりの事業に若い人が興味を持たない (2) お宝マップ作成事業 身近な「まちの魅力」探しを行い、まちの長所を伸ばすことで住民が住みたい、子どもたちが将来久々野に残りたいと思える魅力あるまちづくりを行う。 〔地域課題〕 ・都会へ憧れ、若い人が地元に残らない（都会への流出） ・地元に魅力を感じていない ・お宝（地域資源）の埋没		
5. 事業実績	【1年目・平成30年度】 (1) 情報発信事業 ・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした実行委員会を設立。 ・多摩大学との交流事業の実施 ①久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法などについてワークショップの開催。 ②多摩大学の指導者及び学生を招き、外部の人の目に久々野地域がどう映るのか、何が久々野の魅力でどう発信すればいいのかの実践講座を開催。 ③久々野中学校2年生とのワークショップを開催。 ・地域住民が発信者となる自発的情報発信の仕組みを構築し実践。 (2) お宝マップ作成事業 ・H10年に作成した「久々野のお宝マップ」の検証。 ・町内会、子ども会、学校関係者などをメンバーとする実行委員会を設立 ・まちづくりスポットから講師を招き、事業の進め方や有効利用についての意見交換や久々野の地域特性についてワークショップを開催。 【2年目・平成31年度】 (1) 情報発信事業 ・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした実行委員会を開催。		

5. 事業実績	・久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法などについてワークショップの開催。 ・多摩大学の指導者及び学生を招き、外部の人の目に久々野がどう映るのか、何が久々野の魅力でどう発信すればいいのかの実践講座を開催。久々野中学校とワークショップを行った。 ・地域住民が発信者となる自発的情報発信の仕組みを構築し実践。 ・SNS フォトコンテストを実施し、より多くの方に久々野の情報を発信する工夫を実践。 ・SNS 講座を開催。Google マップを用いることで、より効果的な情報発信ができることを学べた。 (2)お宝マップ作成事業 ・H10 年に作成した「久々野のお宝マップ」の検証。 ・町内会、子ども会、学校関係者などをメンバーとする実行委員会を開催。 ・小学校 6 年生と久々野のお宝めぐりを実施。子どもなりの自慢マップを作成。 ・お宝マップ作成のため、イラストを数点作成。できあがりイメージを膨らませることができた。 【3 年目・令和 2 年度】 (1)情報発信事業 ・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした実行委員会を開催。 ・久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法などについてワークショップの開催。 ・多摩大学の指導者及び学生を招き、外部の人の目に久々野がどう映るのか、何が久々野の魅力でどう発信すればいいのかの実践講座を開催。 ・地域住民が発信者となる自発的情報発信の仕組みを構築し実践。 ・SNS フォトコンテストを実施し、より多くの方に久々野の情報を発信する工夫を実践。 ・学生と SNS で注目されるような特産品のアイデアを考察。 (2)お宝マップ作成事業 ・H10 年に作成した「久々野のお宝マップ」の検証。 ・町内会、子ども会、学校関係者などをメンバーとする実行委員会を開催 ・小学校 6 年生と久々野のお宝めぐりを実施。子どもなりの自慢マップを作成。 ・お宝マップ作成のため、イラストを数点作成。できあがりイメージを膨らませることができた。
6. 事業効果	・情報発信を行う仕組みを実行委員で構築することで、より広範囲で多くの情報を今まで以上に発信できた。 ・実行委員が情報発信することで、魅力が委員同士で共有された。 ・地域資源を発掘し、郷土愛の醸成を意識。地域の愛着が増した。 ・実行委員の主体が若者で、建設的な意見が出され、若者がまちづくりに興味を抱くようになった。 ・インスタフォトコンにより、今まで気づかなかった地域資源を発掘できた。多摩大学学生の作品がコンテストで入賞した。 ・地域資源が貴重なお宝と気づくことで特産品化へ意識を向け始めた。 ・久々野地域からよそへ就職、修学した仲間からも久々野の魅力が発信された。 ・令和 2 年度も小学 6 年生が作った自慢マップに大人が共感する。

7. 今後の見通し・
課題

- ・さらに多くの情報発信を行うため実行委員だけでなく地域を巻き込む工夫が必要。
- ・より地域資源の発掘が必要。若い実行委員が中心となり、さらに久々野の魅力を掘り起こす。
- ・景色を見た人が思わず SNS に投稿したくなるようなフォトジェニックスポットが必要。学生と制作に向けて取り組む。
- ・学生からの特産品アイデアを具現化する。
- ・コロナ禍で感染対策をしながらその地域の子どもたち、大人がともに実際に現地を歩きお宝を見て回り、郷土の誇りを感じる。
- ・新お宝マップを冊子化する。

事業実施内容

(1) 情報発信事業

月 日	項 目	事業内容（対象・方法等）	摘 要
4 月 27 日	実行委員会	実行委員会 インスタフォトコン打合せ ポスター・チラシの配布	参加者：17 名
6 月 10 日	多摩大学、事務局打合せ	事前学習打合せ	多摩大学 3 名 帝塚山大学 2 名 久々野 4 名
6 月 14 日 6 月 21 日	多摩大学・実行委員 事前学習	事前学習 特産品・地域活性化策提案（Zoom 会議）	多摩大学他 17 名 参加者 11 名
7 月 19 日	多摩大学・帝塚山大学	特産品・地域活性化策提案（Zoom 会議）	多摩大他 17 名 参加者 6 名
10 月 6 日	インスタグラムフォトコンテスト第 1 回審査	令和 2 年度インスタグラムフォトコンテスト審査	実行委員 17 名
9 月 14 日	多摩大学、事務局打合せ	事前学習打合せ	多摩大学 3 名 久々野 4 名
10 月 23 日	多摩大学・実行委員 事前学習	事前学習 特産品・地域活性化策提案（Zoom 会議）	多摩大学 13 名 参加者 5 名
11 月 8 日 ～11 月 10 日	多摩大学交流	多摩大学学生と久々野地内を視察 SNS 講座と実践 特産品試作品製作	多摩大 13 名 久々野 7 名 ビジネスホテル宿泊
2 月 8 日	実行委員会	インスタフォトコン第 2 回目審査、次年度事業計画	参加者 19 名

(2) お宝マップ作成事業

月 日	項 目	事業内容（対象・方法等）	摘 要
6 月 18 日	お宝巡り・実行委員会	無数河地区のお宝巡り	小学生 33 名 参加者：7 名
6 月 25 日	お宝巡り	久々野地区のお宝巡り	小学生 33 名 参加者：3 名
10 月 30 日	お宝巡り	大西地区のお宝巡り	小学生 33 名 地域住民：3 名
12 月 16 日	お宝巡り	山梨・西洞・渚地区のお宝巡り	小学生 33 名 地域住民：4 名
2 月 4 日	お宝自慢マップ作成	小学校 6 年生が久々野の自慢マップを作成	

令和２年度 久々野まちづくり運営委員会 収支決算書（モデル的事業）
魅力・お宝発信事業

【収 入】

単位：円

区 分	当初予算額	補正額	変更後予算額	決算額	差引額	内 訳
市補助金	1,530,000	△960,000	570,000	570,000	0	協働のまちづくり支援金（モデル的事業）
自主財源	0	7,995	7,995	13,495	5,500	
合 計	1,530,000	△952,005	577,995	583,495	5,500	

【支 出】

単位：円

事業・科目	当 初		補正額		変更後		決算額		差引額	
	予算額	支援金充当額		支援金充当額	予算額	支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額
情報発信	656,000	656,000	△138,005	△146,000	517,995	510,000	523,495	510,000	5,500	0
人件費	108,000	108,000	6,000	6,000	114,000	114,000	114,000	114,000	0	0
報償費	30,000	30,000	17,400	17,400	47,400	47,400	47,400	47,400	0	0
旅費	180,000	180,000	22,640	14,645	202,640	194,645	202,640	189,145	0	△5,500
需用費	73,000	73,000	5,435	5,435	78,435	78,435	78,435	78,435	0	0
役務費	65,000	65,000	2,020	2,020	67,020	67,020	72,520	72,520	5,500	5,500
使用料及び賃借料	200,000	200,000	△191,500	△191,500	8,500	8,500	8,500	8,500	0	0
お宝マップ	874,000	874,000	△814,000	△814,000	60,000	60,000	60,000	60,000	0	0
人件費	54,000	54,000	6,000	6,000	6,000	60,000	60,000	60,000	0	0
需用費	810,000	810,000	△810,000	△810,000	0	0	0	0	0	0
役務費	10,000	10,000	△10,000	△10,000	0	0	0	0	0	0
合 計	1,530,000	1,530,000	△952,005	△960,000	577,995	570,000	583,495	570,000	5,500	0

令和２年度 久々野まちづくり運営委員会 支出内訳書（モデル的事業）

単位：円

事業・科目	決算額	支援金充当額	内 訳
情報発信	523,495	510,000	
人件費	114,000	114,000	
委員報酬	114,000	114,000	実行委員報酬（6,000 円*19 名）
報償費	47,400	47,400	
景品代	47,400	47,400	フォトコンテスト賞品代
旅費	202,640	189,145	
普通旅費	202,640	189,145	多摩大学旅費
需用費	78,435	78,435	
印刷製本費	78,435	78,435	チラシ、ポスター印刷費等
役務費	72,520	72,520	
通信運搬費	72,520	72,520	
使用料及び賃借料	8,500	8,500	
賃借料	8,500	8,500	バス借上料等
お宝マップ	60,000	60,000	
人件費	60,000	60,000	
委員報酬	60,000	60,000	実行委員報酬（6,000 円*10 名）
需用費	0	0	
消耗品費	0	0	
役務費	0	0	
手数料	0	0	
合 計	583,495	570,000	